

VII

基盤整備事業の概要



Ⅶ 基盤整備事業の概要

市民の学習活動の拠点となる市民館の基盤整備を行なう。

1 教育文化会館・市民館運営審議会

1987（昭和 62）年度まで1 審議会で全市的な視点による諮問事項について審議してきたが、1988（昭和 63）年度から各館別に7 審議会（1 館 10 名以内の委員を委嘱）が発足した。2007（平成 19）年度も、それぞれの審議会が地域の諸問題にふれ、住民の学習要求に即応した活動及び運営がさらに豊かになることをねらいに開催した（任期 2 年の 2 年目・年 4 回開催）。

なお、2001（平成 13）年度からは市民の参画を進めるために、各館の運営審議会に 1 名ずつ公募委員の枠が設けられた。公募にあたっては、市政だよりでの一斉広報だけでなく、各館だより、チラシなどでの広報を行い、応募者数が増加した。

2 刊行・広報活動

教文・市民館の事業を市民に広報することは、単に参加者の募集のためだけでなく、市民館活動への理解を深め、生涯学習・社会教育に対する認知を広げる意味も大きい。教文だより、市民館だより、ホームページ、ポスターやチラシ、事業ごとの文集など、さまざまな媒体を活用している。

3 職員研修

2005（平成 17）年度から、社会教育職員の研修は総合教育センターから生涯学習推進課へ移管となった。

今年度の研修は、「かわさき教育プラン」において、基本施策の一つ「市民が自ら学びいきいきと活動する地域づくり」において、社会教育施設の機能を充実させるとともに、施設間の連携や職員の力量形成を図ることを求められており、そのような観点を念頭におきながら社会教育職員研修を進めた。

4 職員研究

2008（平成 20）年度は「コーディネーターとは何か～いま、社会教育職員に求められていること」というテーマで研究を開始した。

5 情報機器整備事業

教育文化会館・市民館で視聴覚ライブラリー機材・教材の貸出し事業を行った。

6 16 ミリ 映写機操作技術講習会

2008（平成 20）年度は教育文化会館、宮前市民館、麻生市民館で実施した。

VII1 教育文化会館・市民館運営審議会

(◎は会長、○は副会長)

館名	氏名	所属	区分	諮問・研究課題	開催日
教育文化会館	庄司 順子	川崎市立大島小学校校長	1	関係団体との連携による教育文化会館の事業	7・24
	米山 実	川崎区文化協会副会長	2		10・2
	池田 純子	教育文化会館サークル連絡会副会長	2		
	中村 卓司	川崎区PTA協議会会長	2		
	◎堀切 義昭	川崎区地域教育会議議長	2		
	○青木 恵美子	川崎市地域女性連絡協議会副会長	2		
	二瓶 佐和子	公募委員	3	3・12	
幸市民館	伊勢 実	南加瀬小学校校長	1	市民にとり魅力ある幸市民館・分館をめざして	6・27
	菅野 具江	幸区PTA協議会副会長	2		9・26
	中村 和子	幸区文化協会会計	2		
	○斉藤 敦子	幸サークル連絡会顧問	3		
	島田 和代	日吉分館事業市民実行委員会副委員長	3		
◎志村 雄治	川崎市幼稚園協会	4	12・19		
中原市民館	土澤 稔	西中原中学校校長	1	「中原区民にとって市民館をより身近な施設とするために」	6・27
	石橋 榮次	中原区文化協会副会長	2		9・26
	原 庚三	小杉陣屋町2丁目町内会会長	2		
	渡辺 敏夫	(社) 中原区社会福祉協議会理事	2		
	小笠原 茂春	中原区子ども会連合会事務局長	2		
	水野 滋弘	中原区PTA協議会会長	2		
	○萩原 弘子	中原市民館サークル連絡会副会長	2		
◎金子 孝三	公募委員	3	2・13		
高津市民館	◎鈴木 輝雄	高津区PTA協議会副会長	2	市民・団体等との協働による生涯学習の推進について	6・24
	○小倉 敬子	(財) かわさき市民活動センター理事長	4		9・17
	池田 安麿	公募委員	3		
	岩村 朱實	高津区地域教育会議副議長	2		
	風間 康雄	川崎市立東高津小学校校長	1		
	佐久間 昭司	高津区連合町会理事	2		
	篠崎 恵子	高津区文化協会理事	2		
	渡辺 悦子	高津市民館サークル連絡会会計	2		
宮前市民館	◎生駒 みを	(有) コミュニティサポートネット代表	4	ボランティアコーディネーターと市民館の関係について	7・4
	○秋山 俊幸	鷺沼小学校校長	1		9・19
	東出 ゆかり	宮前区PTA協議会	2		
	土屋 和子	宮前区文化協会	2		
	中村 布佐子	社会福祉協議会	2		
	斉藤 光正	菅生分館利用者懇談会	2		
	横森 幸彦	宮前区町内会連合会	2		
	山川 律子	公募委員	3		
多摩市民館	◎新堀 信之	生田小学校校長	1	(仮称) 愛される市民館とは	6・24
	井田 肇	多摩区町会連合会副会長	2		9・30
	米田 信一	多摩区地域教育会議議長	2		
	中田 香織	多摩区PTA協議会書記	2		
	北村 隆英	たま学習サークル連絡会会長	2		
	○吉田 紀代子	多摩区社会福祉協議会理事	2		
	新谷 七美	公募委員	3		
○小林 繁	明治大学文学部教授	4	3・10		
麻生市民館	◎宗 いづみ	声楽家・合唱指揮者	4	(仮称) ポスト団塊世代の市民と市民館活動	6・30
	○清水 正巳	メディコム社長	4		9・18
	前田 高幸	金程中学校校長	1		
	伊藤 志津子	麻生区文化協会監事	2		
	三枝 厚子	麻生区PTA協議会副会長	2		
	岡野 幸雄	麻生区町会連合会理事	2		
	本玉 秀夫	麻生市民館サークル連絡会副会長	3		
	宇都宮 博	一般公募委員	3		

※区分 1：区内に設置された学校の長 2：区内の社会教育団体から推薦された者
 3：区内在住の社会教育に関する経験を有する市民 4：学識経験者
 (川崎市市民館条例 第21条第4項、川崎市教育文化会館条例 第21条第4項による)

VII2 刊行・広報活動

教文・市民館の活動やその役割を市民に周知することは、教文・市民館の諸活動にとって重要かつ基本的な事柄の一つである。

市民の学習要求の掘りおこしや教育的配慮を持って行う各種事業を的確に伝えるために、迅速に正しく知らせる必要があり、下記のように広報活動等を実施した。

(1) 教育文化会館だより・市民館だよりの発行（発行回数・部数）

教育文化会館だより	年8回	各回	9,500部
プラザ大師だより	年8回	各回	9,500部（教育文化会館だよりに併載）
プラザ田島だより	年8回	各回	9,500部（教育文化会館だよりに併載）
幸市民館だより	年7回	各回	7,000部
日吉分館だより	年7回	各回	7,000部（幸市民館だよりに併載）
中原市民館だより	年6回	各回	9,100部（うち1回は新館移転記念特別号 11,000部）
高津市民館だより	年6回	各回	6,800部
プラザ橘だより	年5回	各回	3,450部
宮前市民館だより	年8回	各回	8,300部
菅生分館だより	年7回	各回	2,500部
多摩市民館だより	年5回	各回	7,300部（うち1回は子育て特集号）
麻生市民館だより	年6回	各回	8,000部
岡上分館だより	年6回	各回	8,000部（麻生市民館だよりに併載）

(2) 活動報告書の発行（年1回、1,000部発行）

教育文化会館・市民館の各年度の事業の内容を報告書としてまとめて発行している。

(3) 市政だよりの利用

毎月、市内全戸に配布される市政だよりの利用は、教文・市民館の諸活動の事業案内において重要な役割を担っている。全市的・合同的な事業については市政だよりの全市版に掲載し、各区ごとの事業については市政だよりの区版により広報している。

(4) ポスター・チラシ・パンフレットの発行

教文・市民館の事業内容を周知するために、市民へのPRを行っている。

ア 館概要の発行～施設や設備などの内容を掲載。館利用者に適宜配布

イ 館の利用手引きの発行

ウ 事業用PRポスター・チラシ

各種学級・講座開設時に作成。公共機関掲示板や自治会町内会掲示板などを利用して周知

(5) その他

ア 上記に取り上げた他に、関係団体が発行する機関紙などに協力を求めて教文・市民館の活動の周知を図っている。また、関係行政機関などとの定例的会合を開催することにより、事業の協調や連絡をとり、各機関のもつ広報機能を相互に利用している。

イ 一般新聞の利用

広報活動の一環として、日刊新聞やいわゆるミニコミ誌の協力を得て広報に努めている。多数の市民の関心を集める点で貴重なPRとなっている。

ウ ホームページの開設

各館で順次開設してきたが、全館でホームページが開設され、各館内容の充実を図っている。

VII3 職員研修

研修名	対象	回数	趣 旨
生涯学習研修	社会教育・行政職員・全校種（園）教職員・市民	2	教育職員として必要な生涯学習・学社融合に関する基本的な知識や実践的能力を養う。
	(内容) ①川崎の社会教育・生涯学習について ②社会教育における協働型の事業とは (延べ人数 31人)		
指導・経営研修	社会教育・行政職員（主任～課長・施設長）	3	職場集団をまとめ、指導、補佐する職員や施設を経営する職員として必要な能力を養う。
	(内容) ①接遇（クレーム対応） ②私と社会教育 ③子育て支援について行政に望むこと (延べ人数 82人)		
スポーツ・青少年教育振興研修	社会教育・行政職員	1	社会教育における生涯スポーツ、青少年教育に関する知識や感性を獲得し、基本的・実践的能力を養う。
	(内容) ①総合型地域スポーツクラブの育成とスポーツセンターの関わり (延べ人数 18人)		
人権尊重研修	社会教育・行政職員・全校種（園）教職員・市民	1	教育職員として不可欠な人権に関する知識や感性を獲得し、基本的・実践的能力を養う。
	(内容) ①市の人権施策を学び、人権意識を高める (延べ人数 14人)		
初任者研修	社会教育・行政職員(新任・未経験)	2	社会教育初任者として必要な基本的知識や実践的能力を養う。
	(内容) ①社会教育職員に求められるもの ②財務会計 (延べ人数 37人)		
課題別研修 (市民館)	社会教育(全施設)・行政職員・全校種（園）教職員	2	社会教育における様々な課題についての問題意識・専門性を高めることを目的とする。
	(内容) ①シニア世代に関する取組に学ぶ ②人権教育における国際的動向について (延べ人数 19人)		
課題別研修 (図書館)	社会教育(全施設)・行政職員・全校種（園）教職員	2	社会教育における様々な課題についての問題意識・専門性を高めることを目的とする。
	(内容) ①接遇について ②作家と図書館の世界 (延べ人数 103人)		
自主グループ研修	社会教育(全施設)	47	社会教育職員がその専門的能力の向上を図るために、自ら研修を行うことを支援する。
	(内容) グループ別研修 A班「これからの社会教育と市民教育」 全9回 B班「社会教育振興事業における市民とのかかわりについて」 全9回 C班「魅力ある広報とは何か ～紙媒体の改善及びSNSの活用について」 全10回 D班「現代的課題学習活動を検討する - 「平和・人権」事業を事例に-」 全6回 E班「川崎市立図書館蔵書計画について」 全13回 (延べ人数315人)		

研修名	対象	回数	趣 旨
施設別研修 (市民館)	教育文化会館・市民館職員 (新任・未経験)	7	市民館の役割や課題を理解し、基本的業務に必要な実践的能力を養う。
	(内容) ①学級・講座づくりの基礎Ⅰ ②学級・講座づくりの基礎Ⅱ ③学級・講座づくりの基礎Ⅲ ④市民自主学級・市民自主企画事業について ⑤市民館の事業をみんなで語ろう ⑥課題解決に必要な研修の企画・運営をする ⑦こころのオアシスへどうぞ！ (延べ人数 74人)		
施設別研修 (図書館)	図書館職員・行政職員・学校図書館関係職員	4	図書館の基本的業務に必要な実践的能力を養う。
	(内容) ①カウンター業務を中心に ②レファレンス研修基礎 ③児童サービスⅠ ④児童サービスⅡ (延べ人数 63人)		
施設別研修 (博物館)	博物館施設職員・行政職員・学校教職員	2	博物館の役割や今日的課題を学び、業務に必要な実践的能力を養う。
	(内容) ①博物館の事業評価と利用者 ②三溪園から学ぶ (延べ人数 40人)		

* 各回の簡単な内容及び自主グループ研修の報告文などは、「社会教育職員研究・研修報告書（川崎市社会教育情報第22号）」（平成21年3月刊、生涯学習推進課）を参照

VII4 職員研究

・社会教育研究会議 2008(平成20)～2009(平成21)年度

(テーマ) コーディネーターとは何か～いま、社会教育職員に求められていること

(主な内容) 行政と地域を結びつけるコーディネーターの必要性が叫ばれる中で、コーディネーターの役割や機能について考えることをとおして、川崎市の社会教育職員として今何が求められているのかを探る事を目的とする。

20年度は2年1期の研究の初年度であり、メンバーがかかわる仕事の経験の中からコーディネーターの役割と考えられることについてまとめた。

(メンバー) 宮島登(中原市民館)、小崎紀子(多摩図書館)、菊池なつみ(青少年科学館)
藤塚亮(スポーツ課)、畑山拓登(生涯学習推進課)

VII5 情報機器整備事業

視聴覚センター機材・教材貸出事業

○月別機材・教材貸出状況 2008(平成20)年4月～2009(平成21)年3月

※視聴覚センター(総合教育センター内)保有の教材・機材の貸出し数と述べ利用人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
教育文化会館	貸出数	6	13	12	18	28	15	9	7	16	7	22	7	160
	利用人数	120	693	435	2035	1981	1801	470	225	745	175	1248	237	10165
幸市民館	貸出数	2	10	3	5	14	14	3	4	0	2	8	7	72
	利用人数	180	102	65	400	294	259	140	81	0	30	320	210	2081
中原市民館	貸出数	0	7	6	12	14	0	8	7	6	0	0	5	65
	利用人数	0	350	1695	1920	3795	0	21000	420	1984	0	0	190	31354
高津市民館	貸出数	4	1	6	36	13	3	9	14	10	12	3	9	120
	利用人数	62	1	140	4171	720	61	804	1827	170	419	300	300	8975
宮前市民館	貸出数	0	3	2	20	5	3	20	5	20	4	6	0	88
	利用人数	0	54	170	7998	595	110	1370	554	1508	320	980	0	13659
多摩市民館	貸出数	1	0	4	13	20	15	5	5	12	5	5	5	90
	利用人数	81	0	12	858	1728	1696	201	255	936	131	1290	10	7198
麻生市民館	貸出数	1	0	20	11	10	5	11	22	9	8	2	3	102
	利用人数	51	0	1750	1645	105	270	428	1503	963	85	40	42	6882
総合教育センター	貸出数	8	5	13	0	20	0	17	6	4	1	11	4	89
	利用人数	225	293	353	0	4613	0	4838	1132	2000	10	2016	800	16280
合計	貸出数	22	39	66	115	124	55	82	70	77	39	57	40	786
	利用人数	719	1493	4620	19027	13831	4197	29251	5997	8306	1170	6194	1789	96594

○機材一覧

	暗幕	16ミリ映写機	スライド映写機	OHP	OHC	ビデオ・モニター	スクリーン	液晶ビデオ映写機※	ビデオ編集機	アンプ
教育文化会館	20	3	3	2	1	1	0	2(1)	0	0
幸市民館	30	5	6	2	1	1	1	1(1)	1	0
中原市民館	20	6	5	3	1	1	1	1(1)	1	0
高津市民館	20	2	2	2	0	1	0	2(1)	1	1
宮前市民館	28	5	4	2	0	1	1	2(1)	1	1
多摩市民館	20	3	2	1	0	1	1	2(1)	1	0
麻生市民館	18	6	3	2	1	1	1	1(1)	1	0
総合教育センター	89	7	5	2	2	1	2	2(2)	0	1

() はパソコン対応

○団体別利用状況 2008（平成20）年4月～2009（平成21）年3月

団体	市教委							学幼稚園							社関係教団育体							事業所						
	教文	幸	中	高	宮	多	麻	教文	幸	中	高	宮	多	麻	教文	幸	中	高	宮	多	麻	教文	幸	中	高	宮	多	麻
暗幕	0	5	1	0	7	0	3	0	1	0	1	0	7	0	15	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0
16ミリ映写機	0	2	0	0	0	0	6	0	8	0	3	0	3	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0
スライド	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	19	0	11	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
OHP	0	2	1	0	0	2	19	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0
ビデオモニター	4	17	0	9	0	8	47	0	0	0	0	0	0	0	7	1	4	1	0	8	4	26	0	3	1	0	3	2
液晶ビデオ映写機	25	34	10	30	0	59	78	2	0	0	1	0	6	0	11	3	1	7	2	5	3	61	0	13	13	1	17	0
ビデオ編集機	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
その他	26	89	2	8	0	55	99	2	4	0	0	0	3	0	79	15	1	2	2	6	7	140	2	11	2	2	4	2

団体	町自治会							官公署							その他							総計							
	教文	幸	中	高	宮	多	麻	教文	幸	中	高	宮	多	麻	教文	幸	中	高	宮	多	麻		教文	幸	中	高	宮	多	麻
暗幕	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	6	17	12	1	1	17	8	9	65
16ミリ映写機	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	5	4	0	3	3	12	2	11	11	4	9	52
スライド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	0	33	15	13	20	22	9	11	33	15	14	22	126
OHP	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	1	14	2	1	3	2	0	44	12	2	28	5	6	0	49	45	135	
ビデオモニター	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	2	1	0	11	11	65	8	87	95	72	51	48	86	15	100	97	91	115	552
液晶ビデオ映写機	0	2	0	0	0	0	0	8	4	15	40	2	5	13	27	7	17	90	52	91	47	134	50	56	181	57	183	141	802
ビデオ編集機	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0	12
その他	1	4	0	0	1	1	0	0	9	10	0	3	4	2	0	126	12	25	33	87	147	248	249	36	37	41	160	257	1028

VII6 16ミリ 映写機操作技術講習会

会 場	開 催 日	参加者	内 容
教育文化会館	平成20年7月6日	12人	<ul style="list-style-type: none"> ・映写機の原理と構造及び利用方法 ・映写機の操作実習 ・映画フィルムの取扱い方法 ・視聴覚ライブラリーの利用方法
宮前市民館	平成20年6月1日	17人	
麻生市民館	平成20年6月22日	14人	

